学校番号	T3009

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学演習では、１・２年生で学んだ数学Ⅰ及び数学Ａの内容をさらに深めながら、身の回りの事象を数学的に考察し、処理する力を身に付けていきましょう。
・授業は個々の習熟度にあわせて行いますので、自分自身が苦手とする内容を重点的に学習することができます。
・分からない箇所があれば積極的に質問し、苦手をひとつずつ克服していきましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】
数と式、図形と計量、２次関数、データの分析及び場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を伸ばす。
【思考力、判断力、表現力等】
命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ及び数学Ａの各単元の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を伸ばしている。	数学Ⅰ及び数学Ａの各単元の各事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を深めることができる。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数学Ⅰの分野についての復習と深化	数と式、図形と計量、２次関数及びデータの分析の単元の中からさらに深めたいと思う単元を選び、内容を復習するとともに深めていく。	a:選んだ単元の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を伸ばしている。 b:単元の各事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を深めることができる。 c:数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
後期	数学Ａの分野についての復習と深化	場合の数と確率及び数学と人間の活動の単元の中からさらに深めたいと思う単元を選び、内容を復習するとともに深めていく。	a:選んだ単元の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を伸ばしている。 b:単元の各事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を深めることができる。 c:数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度